

科目名	国語総合	実施日時	令和4年12月2日（金）	使用教室	2A教室
実施クラス	2年A組29名	所見	何事も真面目に取り組み、学習の積み重ねをできる生徒が多い		
教材	ワークシート				
単元	反論を想定した意見文を書こう				
単元の目標	論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめることができる。				
本時の目標	異なる立場の意見を参照し、想定される反論として自分の論の展開のなかに組み込んで根拠や構成を再考してより説得力のあるものにする。				
本時の評価の観点	異なる立場の意見を参照し、想定される反論として自分の論の展開のなかに組み込みんで根拠や構成を再考しよりよくしようとしている。（関心・意欲・態度）〔B〕				
言語活動	ロイロノートスクールを用いて、それぞれの論の構成を交流する。				
学習活動		指導上の留意点		評価の実際	
導入 (5分)	前時までの学習内容を確認する。 本時の目標・流れについて確認する。 chromebookを起動しロイロノートスクールの準備をする。	第2次までに作成した論理の要素・構成を参考に、本時では自分とは異なる立場の意見を想定される反論として取り入れ、論の構成を再考することを伝える。			
展開 (40分)	ロイロノートスクール上で交流を行う。 ①前時に提出されたクラス全員の意見を閲覧する（10分） ②自分とは異なる立場の意見の中から想定される反論を選びワークシートに記入する。（5分） ③自分の論の中に想定される反論を組み込み、それにさらに反論するかたちで根拠を考え、ロイロノート上で構成を再考する。（25分）	①まずは立場は関係なく全員の構成を参照できるよう時間をゆっくり取る。この時、異なる立場の意見は注視するよう伝える。 前時の提出の際、賛成の場合、1枚目（主張）のカードの背景色はピンク、反対の場合は水色に指定し、一見してどちらの立場かわかるように指示しておく。 ②参照したなかから反論として使用するものを選択し、ワークシートに記入してから新たなカードを作成する。 ③ワークシートを併用しながら自分の根拠や論の展開の仕方を再考し、必要があれば調べ活動もする。			
まとめ (5分)	再考した論理の構成案を提出する。 次回の授業内容を確認する。	再考した論の展開カードは前時とは異なる提出箱に提出するよう指示する。 本時で使用したワークシートは次回も使うので持ってくるよう指示する。		〔評価の観点〕 関心・意欲・態度 〔評価方法〕 記述の確認 ○評価Cの生徒への手立て 交流活動を通し、どのような意見を取りれたのか、自分の意見文がどのように変わりそうかを考えさせるよう声がけをする。	